

# 中央大学管弦楽団

## 第78回定期演奏会

S. ラフマニノフ  
交響曲第2番  
ホ短調 Op.27

G. ホルスト  
組曲「惑星」より  
「火星」「木星」

F. スッペ  
喜歌劇「軽騎兵」序曲

指揮 佐藤寿一（当団常任指揮者）

2017年12月22日（金）

東京芸術劇場 コンサートホール

開場 17:45(ロビー開場 17:30)/ 開演 18:30

チケット 1000円 (全席指定) ※当日券あり

前売り 中央大学生協(多摩・後樂園)、チケットぴあ


お問合せ 080-4913-7803(総務 田原)  
chuoorchestra.soumu2017@gmail.com

ホームページ <http://chuo-uni-phil.wixsite.com/chuophill>

主催 中央大学学友会文化連盟音楽研究会管弦楽部

後援 八王子市 豊島区

※誠に申し訳ございませんが、未就学児の入場はお断りしております。

 @chuo\_orchestra

 中央大学管弦楽団



当団ホームページにて  
先着チケットプレゼント  
実施中！





©Masaki ARIYAMA

## 交響曲第2番ホ短調 Op.27

セルゲイ・ヴァシリエヴィチ・ラフマニノフはロマン派後期のロシアの作曲家である。ラフマニノフの生きた時代は、ロマン派音楽が終わりを迎え、近代音楽が台頭し始めた時代だが、彼の作品は伝統的なロマン派的な作風が特徴的である。そのため、当時は批評家や一部の演奏家から「時代遅れ」と評価されることも多かったが、近年ではクラシック音楽のレパートリーのひとつとして多くの人に愛されている。

今回演奏する交響曲第2番は、1906年から1907年にかけて作曲された。ラフマニノフが交響曲第1番の記録的な大失敗による挫折から立ち直り、公私ともに充実した日々を過ごしていた時期の作品である。初演は大成功を収め、初演の10ヶ月後にはグリンカ賞を受賞した。ラフマニノフらしい叙情性豊かな息の長いメロディが特徴的であり、特に第3楽章の、クラリネットの甘く切ないソロをはじめとする旋律の美しさは格別である。



©Masaki ARIYAMA

## 指揮 佐藤寿一

埼玉大学教養学部(哲学コース / 音楽美学)を卒業後、指揮に転向。指揮を小松一彦、高階正光、前田幸市郎の各氏に師事。これまでに山形交響楽団、千葉交響楽団、仙台フィル、東京都交響楽団、東京フィル、ハンガリーのサヴァリア交響楽団、韓国カンナム交響楽団などを指揮。

またオペラ『フィガロの結婚』『ヘンゼルとグレーテル』『カルメン』『あまんじゃくとうりこひめ』では指揮と同時に演出も手掛け、好評を博した。13年にはニューヨークカーネギーホールで『第九』その他を指揮し満席の聴衆総立ちのスタンディングオベーションという熱狂を巻き起こす成功を収めた。

98年から04年まで山形交響楽団指揮者。89年から中央大学管弦楽団を指導している。

## 中央大学管弦楽団

中央大学唯一のオーケストラであり、学内においては中央大学学生会文化連盟音楽研究会管弦楽部として活動している。当団の前身であった「室内楽部」が、1955年の中央大学創立70周年記念式典でシューベルト作曲の未完成の演奏を機に「管弦楽部」と改名し現在に至る。

プロの指揮者や演奏家の方からもご指導いただき、毎年5月、12月には定期演奏会を開催している。7月には音楽研究会に所属する他部会とのジョイントコンサート、入学式・卒業式での演奏、また楽器のセクション別での演奏会を積極的に開催し、1年を通して精力的に活動している。

## 東京芸術劇場へのアクセス

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より徒歩2分。駅地下通路2b出口直結。

